

はくぶつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM '84 1月号

教育普及活動の紹介 18

移動博物館

今年度から、市内各地区の公民館を会場に、展示や行事を行う「移動博物館」がスタートすることになりました。

○「平塚の野鳥展」

1月21日(土)～22日(日) 土屋公民館

2月18日(土)～19日(日) 中原公民館

2月24日(金)～26日(日) 旭北公民館

- ・野鳥の生態写真やはく製の展示をします。
- ・展示時間は、9時30分～16時。
- ・各会場で、土曜日の14時、日曜日の10時と14時に、望遠鏡で野鳥を観察するバードウォッチングの会を行います。

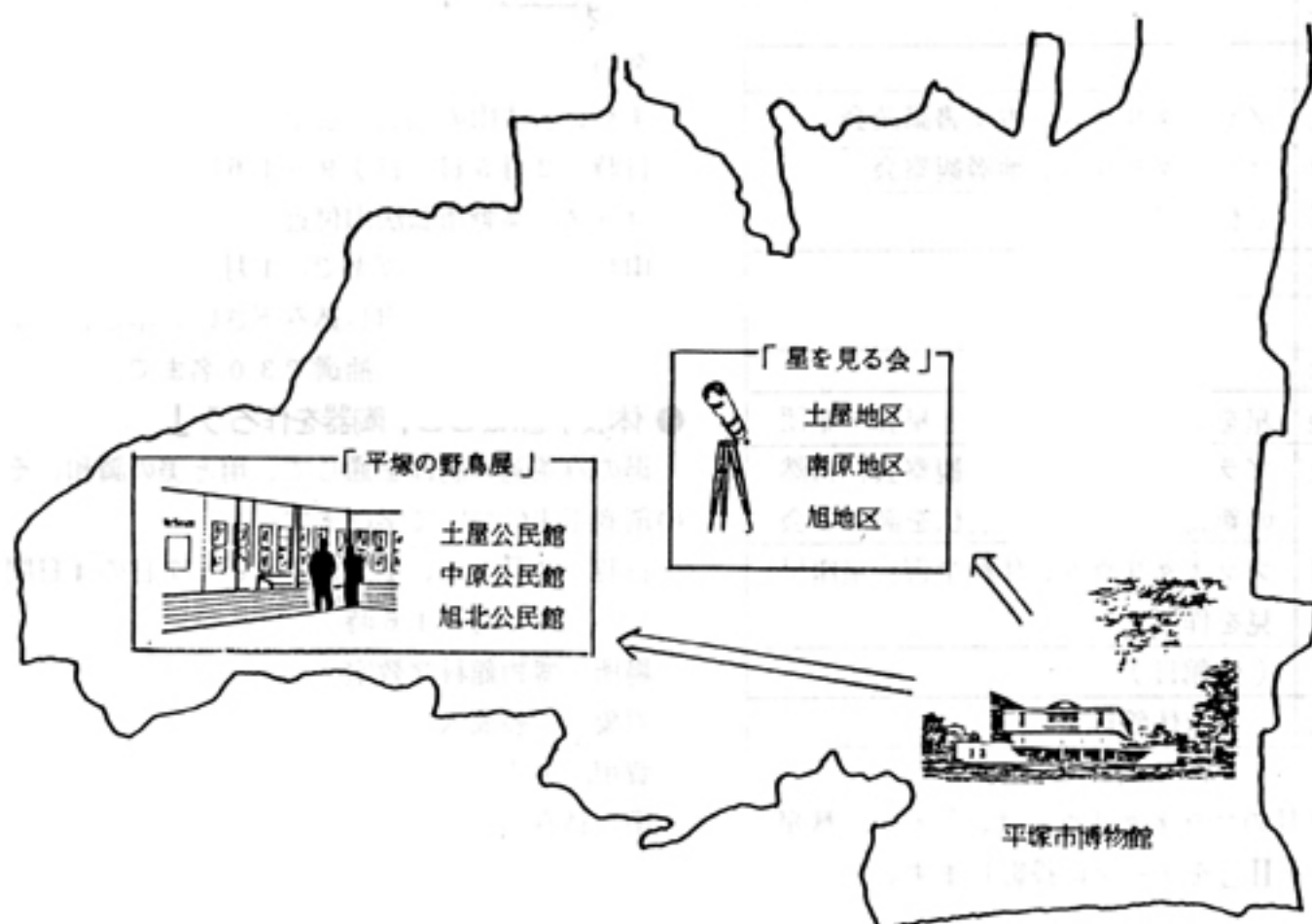
○「星を見る会」

1月21日(土) 土屋地区
(旧土屋小学校々庭)

2月11日(土) 南原地区
(南原公民館)

2月25日(土) 旭地区
(次号でお知らせします)

- ・望遠鏡で星や月の観察をします。
- ・時間は、各地区とも17時～19時までです。時間中に各会場に自由にお越し下さい。
- ・小学生以下は、大人と一緒に参加して下さい。
- ・寒い冬の夜です。防寒具は十分に。
- ・雨天、曇天の場合は、公民館へお集り下さい。スライドを使って星の話をしてします。



1月の行事

1	日	(元日・休館日)
2	月	(〃)
3	火	(〃)
4	水	(〃)
5	木	
6	金	
7	土	プラネタリウム、古文書講読会
8	日	プラネタリウム
9	月	(休館日)
10	火	
11	水	
12	木	デッサン教室
13	金	デッサン教室
14	土	プラネタリウム、土曜観察会「自然の新聞を作ろう」、石仏を調べる会
15	日	(成人の日・休館日)
16	月	(休館日)
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	プラネタリウム、古文書講読会
22	日	プラネタリウム、地層観察会
23	月	(休館日)
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	星を見る会「冬の星座と星雲・星団」
28	土	プラネタリウム、土曜観察会「自然の新聞を作ろう」、石仏を調べる会
29	日	プラネタリウム、体験学習「星座早見を作ろう」
30	月	(休館日)
31	火	(月末休館日)

※1、2月のプラネタリウムは、「ハレー彗星 Part II」をテーマに投影します。

1・2月の行事

あなたも参加してみませんか

●寄贈品コーナー展示内容のお知らせ

○1月5日～1月29日

高瀬コレクションのうち、比較的充実している臨済宗派諸寺禅僧の遺墨から約8点程を展示。

○2月1日～2月28日

豊田本郷遺跡より出土の、弥生から近世までの資料を展示します。複雑に絡みあった遺跡から、多種の遺構・遺物が出土しており、特に中世の集落を考える上で、大変貴重な資料が得られましたので、その一部を公開します。

●星を見る会 「冬の星座と星雲・星団」

冬の星座と、その中に見られる星雲や星団を観察します。

日時 1月27日(金) 18～20時

場所 博物館科学教室

参加は自由ですので、当日、科学教室にお集り下さい。望遠鏡などは、博物館で用意いたします。

●自然観察会 「冬の弘法山をたずねて」

冬の雑木林をたずね、生き物たちの冬ごしのようすや、弘法山の地質を観察します。

日時 2月5日(日) 9～16時(雨天中止)

コース 秦野市弘法山付近

申し込み 往復ハガキで、1月25日までに博物館までお申し込み下さい。申し込み多数の場合は、抽選で30名まで。

●体験学習№80「陶器を作ろう」

湯のみ茶碗の制作を通じて、用と美の調和、その創意工夫について学びます。

日時 2月14、15、16、17日の4日間
10時～16時

場所 博物館科学教室

対象 一般成人

費用 1人500円(材料費)

申し込み 往復ハガキで、1月31日までに博物館までお申し込み下さい。申し込み多数の場合は、抽選で30名まで。

平塚の年中行事

1 須賀の団子焼きとオンビョウ

正月は1年のうちでももっとも行事の多い月で、各家や町内、地区ごとにいろいろなことが行われています。今回はこの中から全国的にも特色ある内容をもって伝えられている平塚周辺のセトバライについて、須賀の例を中心に紹介します。

セトバライは、1月14日にその年の門松、おかざり、前年のお礼、ダルマなどを集めて燃し、団子を焼いて食べるという行事で、市内ではセトヤキ、ドンドヤキ、団子焼きなどともいわれ、今でも盛んに行われています。全国的な比較の中での平塚周辺のセトバライの特色は、これが道祖神の祭りとなえられていること、門松やおかざりの収集などこの行事は子供が中心となて行われていることの2点です。

この2点の特色は須賀の場合もはっきり認められますが、さらに須賀では周辺農村とくらべて、オンベをつくるなど多少異なった内容をもっています。須賀というのは、馬入橋の東岸地区（ここは彦右衛門新田といい、江戸時代初期に開墾された所）を除けば、おおむね現在の代官町、夕陽ヶ丘、久領堤、幸町、札場町、千石河岸、高浜台の範囲で、10体の道祖神があります。新しい町名区画とは別に以前からの町内として北町、横町、仲町、南町、西町の5町内があり、道祖神は北町の西原大門・男大門・女大門、横町の仁兵衛大門・勘平大門・台町にそれぞれ1基ずつ、それに仲町、南町、西町、代官町に1基（社）ずつ祀られています。須賀ではセトバライを団子焼きといい、それぞれの道祖神を中心に行われます。

団子焼きの概略は次のとおりです。まず正月三ヶ日がすぎると7日までの間に、男の子供が同じ道祖神を祀っている家々（大門、町内の範囲）をまわり、鏡餅の下に敷いた紙、門松、おかざりなどを集め、8日には世話人（大人）たちが子供が集めた紙と赤・黄・青の紙（これは買う）でオンベ（オンビョウ）をつくり、さらに道祖神の脇におかざりなどで仮小屋をつくります。オンベとい

うのは3～4mくらいの孟宗竹の先にミタタという御幣をつけ、このまわりに大きな垂（しで）をつけたものです。できたオンベは道祖神の前、あるいは団子焼きの宿の前に立て、この日から13日までの間、子供たちが仮小屋を根城に他の町内、大門とオンベの比べっこをします。オンベを担ぎ歩き、他町内と出会うと「オンビョウ、クラベヨウ、クラベッコニモッテコイ」といいながら互いのオンベをぶつけ合うのです。一方、この期間には子供たちが「セーノカミノゴエンジョ、ネーミーミーエ、オーイドーエ、一文銭を惜しがって、ワラでケツを殴られて、おいててえもないもんだ」などと叫びながら、町内の各家から賽銭を集めて歩きます。こうして14日を迎えると、14日の未明に子供たちがコロトリといって、裸で「六根清浄」を唱えながら浜へ行って垢離をとり、砂（潮花という）をとってきて道祖神や三島神社、各家に1つかみずつ置いて歩き、午後からオンベを中心におかざりなどを1カ所に寄せて燃します。この火で団子を焼いて食べるわけです。

須賀では、現在ではオンベの比べっこや昔ながらの賽銭集め、コロトリは行われていませんが、

▼ オンビョウ (4ページへつづく)





オンベづくりは行われています。オンベやコロトリは、市内では他の地区になく、須賀の大きな特色といえますが、三浦半島の各地や大磯では同じような内容で団子焼き・セトバライが行われています。つまり、須賀の団子焼きには平塚周辺の特色ばかりでなく、三浦半島や大磯といった相模湾岸地域の特色も見られるわけです。

(学芸員・小川直之)

「はくぶつかん」スタッフから
「はくぶつかん」をもっとおもしろくて、楽しいものにするために、あなたのご意見、ご感想をぜひお聞かせ下さい。

(あて先) 〒254 平塚市浅間町12-41

☎ 0463(33)5111

平塚市博物館

「はくぶつかん」スタッフまで
どんどんお寄せくださるのを待っています!

図書情報

博物館発行の図書をご紹介します。ここにご紹介する図書は、現在、博物館の受付にて発売しております。

▷平塚市博物館所蔵資料目録Ⅱ 今井家文書Ⅰ

平塚市岡崎、今井治良氏所蔵文書2,960点を収録。分類・整理は、編年を基本とし、江戸期・明治期・経営・証文・書簡類と大別してある。

B5判 126頁 350円

▷平塚市博物館所蔵資料目録Ⅲ

博物館に寄託、あるいは寄贈というかたちで収蔵されている、養島家をはじめとする11家、2,514点の文書を収録。

B5判 132頁 500円

▷府川勝蔵コレクション・シダ植物標本目録

故府川勝蔵氏の植物標本数千点が博物館に寄贈されたのを機に、氏が最も熱心に研究を進められたシダ植物約2,000点の資料を目録化したもの。

B5判 60頁 500円

▷平塚鳥類誌

市内に生棲する鳥類を、大勢の参加者の日々の観察を、目録作りという作業でまとめたもの。

B5判 123頁 600円

▷平塚市須賀の民俗

相模湾を舞台として漁を続けてきた須賀の人々の民俗を浮きぼりにしたもの。

B5判 203頁 1,500円

▷平塚市史民俗調査報告書2、3

報告書2は、平塚市内の豊田地区と岡崎地区の民俗調査をまとめたもの。報告書3は、土屋地区と吉沢地区のそれをまとめたもの。

B5判 いずれも300頁前後 1,300円

▷平塚市史2、3 資料編 近世(1)、(2)

近世資料編全3巻のうち、(1)、(2)は市域の現存文書を中心に収録。収録資料は村を基準に、編年体＝年代順にして各資料の表題下に所領名を記してある。

A5判 いずれも880頁前後 各5,000円